

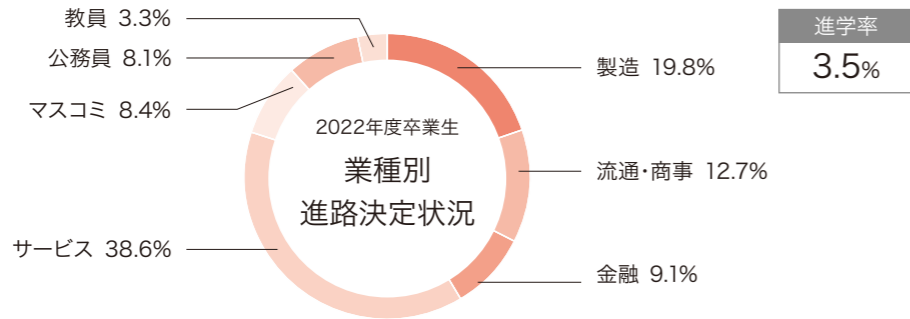
進路・就職

実社会に触れて学んだ実践力と専門性を生かし多様な業界で卒業生が活躍。

立命館大学では、「学生一人ひとりの希望する進路の実現」を掲げ、進路・就職支援をおこなっています。

進路・就職

※円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。 ※端数処理の関係で100%にならない場合があります。
◎進学率=(進学者/(就職者+進学者))。ただし、進学者には大学院だけでなくその他の進学者を含む。



2022年度卒業生 進路・就職先一例 (50音順)

アイリスオーヤマ(株)	(株)京都銀行 4名	(株)大広	日本アイ・ピー・エム(株)	(株)マイナビ
Apple Japan合同会社	KDDI(株)	大成建設(株)	日本生命保険(相) 4名	(株)毎日新聞社
イオンモール(株)	国立大学法人広島大学	(株)大丸松坂屋百貨店	日本放送協会[NHK] 5名	美津濃(株)[ミズノ]
いすゞ自動車(株)	コニカミノルタ(株)	大和ハウス工業(株) 2名	日本マクドナルド(株)	みずほ証券(株)
(株)伊藤園	(株)サイバーエージェント	TDK(株)	(株)ノーリツ	三井住友海上火災保険(株)
(株)ADKホールディングス	(株)ジーユー	(株)テレビ西日本	(株)乃村工藝社	三井住友信託銀行(株) 2名
SMBC日興証券(株)	(株)JTB	東海テレビ放送(株)	(株)長谷工コーポレーション	森永乳業(株)
(株)NTTドコモ	スズキ(株) 2名	東京海上日動火災保険(株)	パナソニック(株) 2名	読売新聞社
(株)MBSラジオ	住友生命保険(相)	東京電力ホールディングス(株)	びあ(株)	楽天グループ(株)
オリックス(株)	住友電気工業(株)	(株)東芝	(株)ビームス	(株)リクルート
(株)カプコン	(株)セガ	東(株)	東日本旅客鉄道(株)	(株)良品計画
関西テレビ放送(株)	積水化学工業(株)	凸版印刷(株)	(株)日立製作所	国税専門官 3名
関西電力(株)	積水ハウス(株) 3名	(株)日経BP	富士通(株)	国家公務員一般職 5名
(株)キーエンス	(株)セブン-イレブン・ジャパン	日本郵便(株)	(株)船井総合研究所	地方公務員(上級職) 36名
一般社団法人共同通信社 4名	損害保険ジャパン(株)	(株)ニトリ	(株)北海道新聞社	教員 19名

産業社会学部のキャリア教育

▶ キャリア形成特殊講義

企業担当者からの助言・指導を受けながら、企業が実際に抱える課題に対して政策提言をおこなうクラスです。

フィールドワーク調査や企業へのプレゼンテーションを通して、学生が自身の職業キャリアについても考えるきっかけとなっています。

▶ 専攻キャリア企画

低回生からキャリアイメージを形成できるよう、さまざまな分野で活躍する卒業生のトークセッションなどを開催しています。

(過年度実施例)

- ・スポーツに関連する仕事の実践(卒業生による講演会・スポーツ社会専攻)
- ・貿易業務、国際業務、Globalで活躍するために(卒業生による講演会・現代社会専攻)
- ・輝く社会福祉現場(社会福祉現場で働く方による講演会・人間福祉専攻) など

▶ キャリア充実支援

産業社会学部ならではのキャリア企画を実施し、在学生のキャリア形成を支援しています。

(過年度実施例)

- ・ジャーナリスト塾
- ・働くありかたって何?～企業に入る前に社会に出ることを考える～
- ・実践的能力育成のための講義(グループディスカッション、ロジカルシンキング、プレゼンスキル講座)
- ・社会福祉士国家試験対策講座 など

立命館大学 産業社会学部

COLLEGE OF SOCIAL SCIENCES

- 現代社会専攻
- 子ども社会専攻
- メディア社会専攻
- 人間福祉専攻
- スポーツ社会専攻



社会の あらゆる現象が 研究対象です。

産業社会学部で 「社会問題を解決する力」を身につけよう

環境問題、貧困や格差、労働、メディア、SNS、家族、都市と農村、ジェンダー、余暇、スポーツ、福祉、教育…

現代社会を取り巻く諸問題は、さまざまな要素が複雑に入り組んでいます。

この複雑な社会問題を解決するために必要なものは何でしょうか。

産業社会学部は1965年の創設以来、社会問題の解決を追求してきました。

産業社会学部が目指すのは、「学際性と専門性を兼ね備え、

積極的に社会に働きかけ、社会問題を乗り越えていく人材」の育成。

学問領域を超えて多面的に学べる「柔軟なカリキュラム」と、

自ら主体的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」の豊富なフィールドを通して

複雑な現代の諸問題と向き合う力を身につけます。



学部長メッセージ

社会を見つめ、学び合い、踏み出そう未来へ

2025年に創設60周年を迎える産業社会学部は、現代社会における国内外の諸問題に対して、社会学を軸とした様々な学問領域から総合的に分析し、その解明に向けて歩んできました。卒業生・校友は4万人を超え、実社会に触れて学んだ実践力と専門性を活かして多様な業界で活躍されています。ここ数年のコロナ禍、国際紛争、社会的孤立、貧困・格差など、具体的に解明しなければならない複雑な問題が私たちの前に立ちはだかっています。このような現代であるからこそ、社会の変化に敏感に応え、様々な知識を得て論理的に考える力を培うことが求められています。そして諸問題の解決に向けて仲間とともに語り合い、学びあって欲しいと考えています。

誰もが安心して暮らせる平和な社会、多様性を認め誰をも取り残さない社会、そんな素晴らしい未来の構築に向けて、さあ一緒に踏み出しましょう。



立命館大学産業社会学部長
黒田 学

社会学とは？

社会学はさまざまな社会現象の実態や背景、仕組みを解明する学問です。あらゆる社会現象を研究対象とします。複雑な社会現象を解明するために、柔軟な学問的知識や研究方法で、科学的に分析をおこないます。

産業社会学部の特長

▶ 柔軟なカリキュラム

複雑な社会問題に多角的にアプローチできる「クロスオーバー・ラーニング」。専攻での専門能力を高めつつ、他専攻の科目も横断的に学ぶことで、多彩なテーマの中から自分だけの学びをデザインすることができます。

▶ さんしゃ流アクティブ・ラーニング

学生自らが主体的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」。産業社会学部では、社会問題の実際の現場に触れ、理論と実践を往復した研究活動をおこないます。国内外を問わず実社会で学ぶことで、問題を発見し解決する力を身につけます。

▶ 国際社会への対応

国際社会が直面する課題に主体的・実践的に取り組めるプログラムを設定。「国際理解」の促進と「国際比較」の視野を培うため、学部独自の海外研修や、英語能力と専門性を同時に高める英語副専攻などのプログラムが設置されています。

4年間で身につく力

現代社会の問題を多面的に捉える力

現代社会の諸問題に鋭く関心を寄せ、専門性と学際性を持ち合わせた視点で多面的に捉える力を身につけます。

課題解決能力

諸問題から適切な課題を設定し、筋道を立て探求することで、課題解決能力を養います。

グローバル社会の諸問題に向き合う力

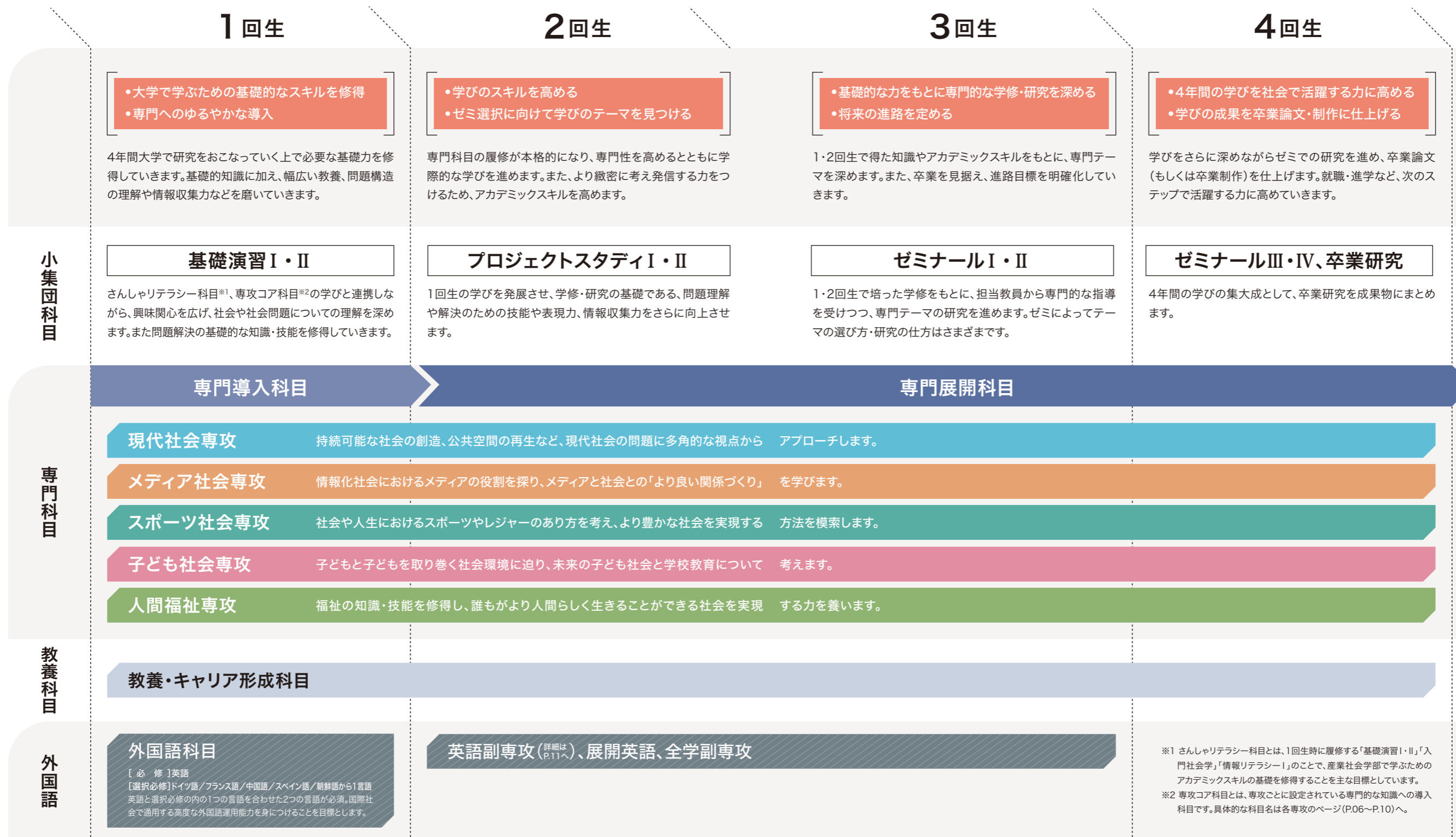
語学力に加え「国際理解」や「国際比較」の視野を培うことで、国際社会に向き合う視座やマインドを養います。

実践的な調査や分析をする力

必要な情報やデータを収集し、適切な手段で分析・考察する力を身につけます。

産業社会学部の4年間

4年間を通した小集団教育を軸に、
社会問題と向き合う確かな力を身につけます。



高校とはココが違う！
学びのステップ

■「勉強する人」から「研究する人」へ

高校までは知識を覚え、出された問題に早く正解する「勉強」が重視されますが、大学でおこなうのは「研究」です。4年間を通じた小集団教育を軸にしながら、取り組むべきテーマを自分で発見し、さまざまなアプローチで研究に取り組みます。そして4年間の学びの集大成を卒業研究として結実させます。

■自分で決める「自由」と「責任」をもつ

大学では授業を自分で選び、自分で時間割を組み立てます。何を学びたいか、どう学びたいかを自分で決めることができます。

各専攻の詳細は
「専攻紹介」ページ参照
P.05~P.10へ

専攻紹介

高い専門性と
多角的な視野を
養う**5**専攻。



5つの専攻のさらに詳しい情報は、
HPをご覧ください。



クロスオーバー・ラーニング

多様で複雑な現代の社会問題に対応するには、高い専門性と同時に「多角的な視野」が求められます。自専攻の専門科目に加えて、学部基礎専門科目や他専攻の専門展開科目などの履修を通して、専攻の壁を越えた多彩なテーマを学ぶことが可能です。例えば「教育」と「福祉」、「スポーツ」と「ジャーナリズム」など複数のテーマを学ぶことで、複雑な課題を多面的に捉えることができます。

ダブルメジャー制度

クロスオーバー・ラーニングを実現するための一つの仕組みです。所属する専攻以外からサブメジャー専攻の一つを選び、通常は履修できないサブメジャー専攻のゼミナールや専門導入科目を履修することが可能となり、社会問題へのより深く多面的なアプローチを可能にします。

クロスオーバーで広がる研究テーマ例



※他専攻の専門科目の単位認定における科目区分(分野)は、専門科目ではなく「発展科目」です。
※卒業するためには、教養科目、外国語科目等の他に、自専攻の専門科目を少なくとも30科目程度単位修得する必要があります。

現代社会 専攻

現代社会の課題に3つの領域から迫り、
真に豊かな未来を探求する。

現代社会専攻の特長

震災からの復興、原発の再稼働、異常気象と地球温暖化、国内外での貧困や格差の増大、地方の過疎化や少子高齢化、非正規雇用や過労死の増加、ワーキングプアやシングルペアレントの苦難、そして、宗教や文化の違いを巡る対立や紛争など、あなたが住む町やそこからはるか遠くの海外に至るまで、世の中は数多くの解決すべき問題であふれています。あなたの興味や関心に沿って、これらのトピックをそのままダイレクトに大学での学びのテーマとして設定できるのが、現代社会専攻です。「社会形成」「社会文化」「環境社会」という3つの領域とその科目群を組み合わせることで、あなただけのオリジナルな学びをデザインし、極めることができる履修プログラムが用意されています。あなた自身や周囲の人がより幸せになれる社会や、見知らぬ世界の人びとにとっても希望ある未来を迎えられる社会を自らデザインし、その実現のために「問い」を立て、その解決策をともに探求していきましょう。



ゼミ紹介

家族・ジェンダー・セクシュアリティから 考える現代社会



現代社会専攻 4年生
宮川 喜仁さん

私が所属するゼミでは、ジェンダー・セクシュアリティ・ケアを中心として現代社会における親密圏の変容について幅広く学んでいます。3年生ゼミでは、日本で増えつつある男性介護者の実態について学びました。さらには行政や介護事業所と連携し、地方自治体の高齢者虐待予防のパンフレットを作成するなどアウトプットを重視した実践的な活動を行っています。また支援者向けのデートDV講座に、学生自ら登壇するという貴重な経験を得ることができました。滅多にない経験をすることが多く、新鮮な気持ちで研究に臨むことができます。ゼミ活動で能動的な姿勢を育むことができ、自分の将来に活かせる学びが多く見つかると思います。



教授
齋藤 真緒

齋藤ゼミでは、家族やジェンダー・セクシュアリティといった、自分にとってとても身近な問題を通じて、今の社会のありよう、新しいライフスタイルを考えています。身近なテーマであり「とっつきやすい」一方で、自分が当たり前だと思ってきた家族観・ジェンダー観を客観化することはとてもエネルギーを要します。ゼミでは、デートDVやヤングケアラー、生理の貧困などを取り上げてきましたが、「自分を棚上げしない」という姿勢を大事にしています。「べき」論ではなく、リアルな実態とその背景をじっくり考え、社会に提言するだけではなく、自分たちの新しい生き方をみんなで考えています。

専門性を高める多彩な科目

※★印は専攻コア科目(P.03)です。
※下記の科目は抜粋です。

専門導入科目

- ・現代と社会★
- ・産業社会学
- ・都市論
- ・社会学論
- ・多文化共生論

専門展開科目

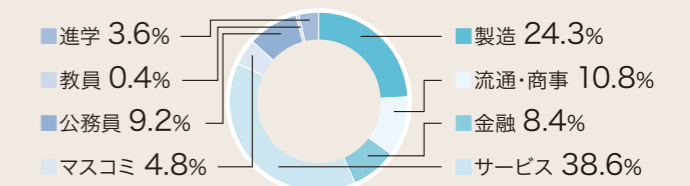
- ・企業社会学
- ・家族社会学
- ・比較政治論
- ・比較文化論
- ・国際社会経済学
- ・労働社会学
- ・社会病理学
- ・現代経済論
- ・比較宗教論
- ・環境論
- ・社会階層論
- ・社会思想
- ・住民自治論
- ・比較ジェンダー論
- ・資源エネルギー論 など

卒業論文テーマ(過年度例)

- 子どもの貧困に対する問題点の指摘: 相対的貧困率から見るマクロ的視点と、子供の立場から考えるミクロ的視点から
- 女性のワーク・ライフ・バランスに関する国際比較
- エネルギーシステムにおける送配電網と熱供給網の再構築の必要性
- 無戸籍者問題における行政分野に関する考察
- 路面電車・LRTを軸にした地域の活性化—阪堺電気軌道を事例に—

主な進路・就職先

※小数点以下第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。



【製】(株)キーエンス/コニカミノルタ(株)/スズキ(株)/住友電気工業(株)/積水化学工業(株)/積水ハウス(株)/大成建設(株)/TDK(株)/東レ(株)/ニチコン(株)/(株)ノーリツ/パナソニック(株)/(株)日立製作所/森永乳業(株) 【流】(株)ニトリ/(株)ビームス/(株)良品計画 【金】オリックス(株)/(株)京都銀行/住友生命保険(相)/損害保険ジャパン(株)/日本生命保険(相)/(株)広島銀行/三井住友信託銀行(株) 【サ】ALSOKグループ/(株)NTTドコモ/(株)カブコン/(株)サイバーエージェント/(株)JTB/東京電力ホールディングス(株)/日本中央競馬会[JRA]/日本アイ・ピー・エム(株)/(株)乃村工藝社/東日本旅客鉄道(株)/富士通Japan(株)/楽天グループ(株)/(株)リクルート 【マ】東海テレビ放送(株)/富山テレビ放送(株)/日本放送協会[NHK] 【公】京都市役所/神戸市/国家公務員一般職(総務省)

メディア社会 専攻

メディアの役割や使命を学び、 社会とのより良い関係を創出する。

メディア社会専攻の特長

「私たちとメディアの関わり」をいろいろな角度から捉え返す——それが、メディア社会専攻での学びの目的です。メディアの現場で必要とされる知識や技能を修得するだけでなく、現代社会とメディアの関わりを問い直し、あるべき「メディア社会」をいかに考えていくか——こうしたことに重点を置いて学んでいきます。そのために、3つの領域を用意しています。「送り手」と「受け手」の両面からジャーナリズムやソーシャルメディアを捉え、メディアと人との関わりを考える「市民メディア」領域。テレビ、新聞、雑誌、広告などメディアの「発信媒体」についての理解を深め、それらと社会、政治、歴史などとの関係を探る「メディア社会」領域。そして、映画、マンガ、観光、スポーツなど、さまざまな文化、ポピュラー・カルチャーとの関わりからメディアの役割を考える「メディア文化」領域です。現代のメディアの役割と使命をともに考えましょう。



スポーツ社会 専攻

心豊かで健康的な人間社会のために、 スポーツやレジャーのあり方を考察する。

スポーツ社会専攻の特長

「スポーツを時代や社会、人びとの人生との関係の中で理解し、その望ましい関わり方はどうあるべきか？」を問い続けることが、スポーツ社会専攻のアイデンティティです。本専攻では、講義や演習の他、地域や海外に出て実践的に学ぶプロジェクト型学習を用意することで、人文・社会科学の観点からスポーツ、あるいはより広くレジャーの「いま」を鋭く分析し、より良い世界をデザインする力を養うことを目指しています。とりわけ大きな特長は、スポーツの「本質」や時代ごとの価値・役割を究明するとともに、現代社会との関係性の中でスポーツのありようを問い直す「スポーツ文化」「スポーツ社会」の学びをコア・カリキュラムに据えているところです。これは、体育やスポーツ科学での学びとは違った魅力です。学生には、国内外のスポーツやレジャーに関するビジネスや政策、法律、教育、メディアなどについて専門的に学ぶだけでなく、例えば「スポーツ×多様性」「身体×テクノロジー」「スポーツ×地域活性化」など、自らの興味関心や将来のビジョンに応じて独自の学びをデザインすることを推奨しています。



ゼミ紹介



メディア社会専攻 4回生
楠木 朝陽さん

<メディア>と<文化>の交差点を探る

私はゼミで、男性キャストのみで上演されることが多い女性向けの「2.5次元舞台」に女性キャストが登場するとなぜ「炎上」するのか、宝塚歌劇団と比較しながらファン心理の考察を行っています。先行研究がほぼない分野ですが、自分で集めた雑誌のインタビュー記事やSNSの投稿を資料として用いながら、従来の研究との接続を目指しています。メディア社会専攻の授業では基本的なメディアの読み解き方や研究手法を学び、ゼミではそれを自分の関心と結びつけて独自の研究へ発展させることができます。どんな物事も研究対象にできてしまう懐の深さに、メディアや文化を研究する魅力があると私は考えています。

新聞を読む、テレビを見る、SNSで誰かとつながる…。わたしたちは日々、メディアを通じて情報を得たり、他者と関わっています。ゼミ生は、そのなかで形成される価値観や生活のありようを「文化」としてとらえ、さまざまなアプローチで研究しています。対象は音楽や映画、マンガなどの「コンテンツ(内容)」に限られません。コスプレとその撮影機器に注目して、「写真」というメディアがかたちづくる人間関係を考察する卒論を書いたゼミ生もいます。ゼミとは、自分の好きなこと、面白いと思っていることが現代社会のなかでどう位置づけられるかを考え、発表し、議論する、産業社会学部での学びを紡ぎ上げる場なのです。



教授
瓜生 吉則

専門性を高める多彩な科目

※★印は専攻コア科目(P03)です。
※下記の科目は抜粋です。

専門導入科目

- ・現代とメディア★
- ・現代メディア史
- ・メディア社会論
- ・メディア文化論
- ・メディア技術史

専門展開科目

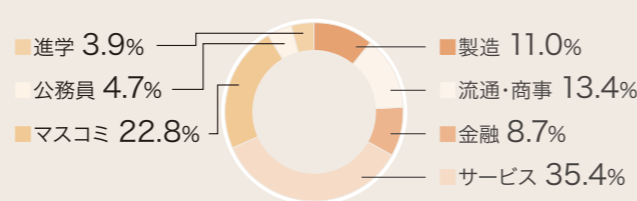
- ・ジャーナリズム論
- ・活字メディア論
- ・音声メディア論
- ・マンガ文化論
- ・グローバルメディア論
- ・メディアリテラシー論
- ・ニュース論
- ・映画と社会
- ・パブリックアクセス論
- ・子どもとメディア
- ・コミュニケーション政策論
- ・コミュニティメディア論
- ・広告論
- ・観光文化論
- ・表象文化論 など

卒業論文テーマ(過年度例)

- フェイクニュースはなぜなくならないか
- 京都アニメーションの消費者像分析
- ハリウッド恋愛映画のヒロインの「靴」に見る記号論的分析
- スマートフォン社会におけるネットいじめの危険性と対策とは
- 新聞におけるアスリートのジェンダー格差
- BTSの世界進出からみる日韓ポップスとオリエンタリズム

主な進路・就職先

※小数点以下第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。



【製】大和ハウス工業(株)/東芝エレベータ(株)/東和薬品(株) 【流】(株)アニメイト/イオンリテール(株)/岩谷産業(株)/(株)ジーユー/(株)セブン-イレブン・ジャパン/(株)大創産業[DAISO/ダイソー]/コアサ商事(株) 【金】あいおいニッセイ同和損害保険(株)/アイフル(株)/上田八木短資(株)/SMBC日興証券(株)/(株)京都銀行/(株)三十三銀行/名古屋銀行 【サ】イオンモール(株)/UUUM(株)/NECネットエスアイ(株)/小田急不動産(株)/(株)セガ/中国電力(株)/(株)電通デジタル/びあ(株)/PwCあらた有限責任監査法人/富士通(株)/(株)マイナビ/三井不動産リアルティ(株)/(株)ラウンドワン 【マ】(株)MBSラジオ/関西テレビ放送(株)/一般社団法人共同通信社/静岡エフエム放送(株)/(株)新日本海新聞社/(株)大広/(株)TBSスパークル/(株)テレビ西日本/日本放送協会[NHK]/(株)北海道新聞社/(株)毎日新聞社/読売新聞社 【公】大阪府

ゼミ紹介



スポーツ社会専攻 4回生
藤原 美桜さん

身近なスポーツ現象や謎を読み解く

松島ゼミでは、フィールドワーク等の調査方法を学びながら、学生がそれぞれの興味関心に応じて研究を行っています。そのためテーマは、アマチュアからプロスポーツまで幅広く、コロナ禍のスポーツヒューマンシップ、eスポーツと高齢者の生きがいなどユニークなものも多いです。私は「聖地巡礼」をキーワードに、スポーツツーリズムについて研究しています。SNSの発達を背景にスポーツ選手がファンと密接に関わるようになる中で、ファンが憧れの選手に関わる観光資源を主体的に発掘し、消費している現実を浮き彫りにし、都市の公的な観光施策・計画を越えたスポーツツーリズム産業の未来を展望したいと考えています。

皆さんは、食事や睡眠、勉強の他、何をしていますか。部活動、スポーツ観戦、ゲーム、旅行、自分磨きなどされてませんか。私たちの日常は、さまざまな遊びや運動、スポーツ、レジャーなどを抜きに成り立ちません。それらは、人に喜びや楽しみを与え、心身の健康、自己成長、仲間づくり、地域創成、国際交流、SDGsの実現、経済成長などに役立つそうです。でも、「良い」ことばかりじゃない。苦痛や悲しみを生み、差別、格差などの問題も抱えています。ゼミでは、そんな現実世界を理解し、多様な人間が遊びや運動・スポーツ、レジャーを通じて共に、そして「幸せ」に生きるために何をなすべきかを考えています。



准教授
松島 剛史

専門性を高める多彩な科目

※★印は専攻コア科目(P03)です。
※下記の科目は抜粋です。

専門導入科目

- ・現代とスポーツ★
- ・スポーツ史
- ・ウェルネス論
- ・スポーツ社会学
- ・スポーツ文化論

専門展開科目

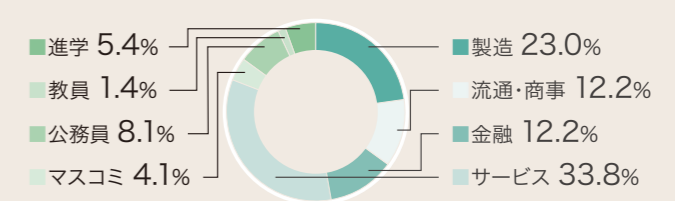
- ・余暇の社会史
- ・スポーツ政策論
- ・スポーツ行政論
- ・スポーツマネジメント論
- ・スポーツメディア論
- ・障害者とスポーツ
- ・スポーツとジェンダー
- ・グローバルスポーツ論
- ・地域スポーツ論
- ・スポーツ人類学
- ・生理学
- ・学校保健
- ・子どもとスポーツ
- ・スポーツボランティア論 など

卒業論文テーマ(過年度例)

- 途上国におけるスポーツを通じた国際貢献—グローバル化が進むスポーツの可能性とは—
- 健康者と車いすバスケットボールの文化的接点—インクルーシブスポーツとしての普及をめざして—
- わが国におけるスタジアム・アリーナ改革とスマート・ベニュー構想の展望
- ライフスタイルスポーツとジェンダー：サーフィンにおけるジェンダー・人種差別から見る課題
- スポーツ用品メーカーの現状と今後に向けた考察
- 株式会社アシックスとミズノ株式会社を対して
- 事象関連電位を用いたクラシックバレエにおける「つなぎ」動作の鑑賞能力評価

主な進路・就職先

※小数点以下第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。



【製】Apple Japan合同会社/(株)一条工務店/共英製鋼(株)/積水ハウス(株)/大同特殊鋼(株)/大和ハウス工業(株)/東芝デバイス&ストレージ(株)/東洋製罐グループホールディングス(株)/凸版印刷(株)/(株)トプコン/(株)マキタ/美津濃(株)[ミズノ] 【流】(株)サザビーリーグ/島津メディカルシステムズ(株)/(株)東京インテリア家具/(株)日本アクセス 【金】あいおいニッセイ同和損害保険(株)/(株)あおぞら銀行/(株)京都銀行/東京海上日動火災保険(株)/(株)南都銀行/(株)福井銀行/みずほ証券(株) 【サ】NSGグループ/遠州鉄道(株)/関西電力(株)/KDDI(株)/国立大学法人広島大学/(株)サニックス/(株)シャノン/住友三井オートサービス(株)/日本郵便(株)/(株)日立ビルシステム/三菱UFJトラストシステム(株)/リゾートトラスト(株) 【マ】ティップ(株)/(株)日経BP/日本放送協会[NHK] 【公】刑務官/国税専門官/千葉市役所/兵庫県警察本部 【教】京都府教育委員会

子ども社会 専攻

子ども社会専攻の特長

子ども社会専攻では、「小学校教諭一種免許状」の取得に必要な単位を修得することができます。少人数授業を多く設定しており、小学校でのボランティアを実施するなど、教師力の育成を重視しています。教師経験のある先生に相談ができる部屋もあり、サポート体制も充実しています。また、本専攻は、幅広い学問領域が集まる産業社会学部の中にあり、子どもや教育に関する多様な学びを実現できる専攻です。目の前の現実、ひとつの「問い」にひとつの「答え」というふうには単純にできているわけではありません。解明するためには、広い視野が不可欠です。たとえば、国際的な視点からは、グローバル教育や国際援助などの課題があり、社会との関係では、子どもの貧困やメディアなどの課題が見いだせます。学校教育に関しては、カリキュラムや学校文化などが、発達の視点からは、カウンセリングや家族関係なども視野に入ります。どの領域で専門性を深めるかによって、皆さんが社会で活躍するフィールドはどんどん広がっていくのです。教育や子どもたちに関わる仕事は、創造的でわくわくする営みです。あなたもぜひ本専攻で学び、新しい教育・子どもの社会の創造に挑戦してください。

新しい教育・子どもの社会の 創造に挑戦する。



人間福祉 専攻

人間福祉専攻の特長

人間福祉専攻では、障がいの有無、年齢(子ども～高齢者まで)、性別、おかれた環境に関わらず、誰もがその人らしく尊厳を保ち、地域で暮らし続けられる社会づくりに貢献する力を蓄えます。福祉社会の実現に向けて整備される社会保障・社会福祉制度に関する理解から、障がい・虐待・貧困など社会的困難のある個人や家族への臨床場面における個別支援のスキルまで幅広く学びます。「福祉社会」領域では、少子高齢社会、国際社会など現代社会を包括的に、俯瞰してとらえる「眼」を養い、理念や思想、法律や社会制度などについて考え福祉社会の構築を目指します。「人間発達」領域では、乳幼児から高齢期を見据え心理学・人間発達学のほか、カウンセリングやソーシャルワークについて学び、人に寄り添いアプローチするための知識やスキルの「芽」を大きく育てていきます。また国家資格である社会福祉士課程や特別支援教育課程を設置するなど、充実したキャリア教育が用意されています。今日の現代社会では、誰もが福祉課題の対象になり得ます。私たちの暮らす社会において、福祉領域は必要不可欠なものです。誰もが尊厳を持って人間らしく地域で暮らしていける社会を目指して、自らの「眼」と「芽」を育みながら、その専門性をより高めていきましょう。

その人らしく尊厳ある多様な暮らしと 生き方を支援する。



ゼミ紹介



子ども社会専攻 4回生
奥田 咲来さん

子ども京都学の試み —地域、学校、京都—

このゼミには、様々な興味を持った仲間が集まっています。私は小学校教諭の免許取得を目指す中で疑問に思った「誰一人取り残さない授業づくり」をテーマに設定し、研究を進めています。ゼミの時間では、それぞれの研究テーマについて紹介し合い議論を深めます。別の専攻に所属している仲間とも交流出来ることは、産業社会学部ゼミの大きな魅力だと感じています。また、京都で開催されるお祭りを見学したり、お寺を巡ったりすることもあります。京都出身の私も、日々新たな京都の魅力に気付いています。ゼミは、多様な考えに触れることが出来るとともに、自分の興味を広げることが出来る大切なコミュニティです。

学校や地域が子どもの育ちにどのように影響するのか、そして子どもの育ちについて学校や地域の望ましい関わりとは何かについて、それぞれのテーマを持って調べていきます。普段のゼミの活動は発表と討論が中心ですが、各自のテーマを深めるためには実際の子どもの姿に接することが大切です。そこで、子どものための伝統行事「地蔵盆」や地域のお祭りを手伝ったり、特色的なカリキュラムで教育を行っている学校を見学しています。時には、世界遺産のお寺や神社を巡ったり、祇園祭や葵祭などを見学したり、京都を満喫する時間も。京都で、子ども・学校と地域の関わりについて考えてみませんか。



教授
中西 仁

専門性を高める多彩な科目

※★印は専攻コア科目(P03)です。
※下記の科目は抜粋です。

専門導入科目

- ・子どもと社会★
- ・子どもと教育の歴史
- ・現代学校教育論
- ・現代教職概論

専門展開科目

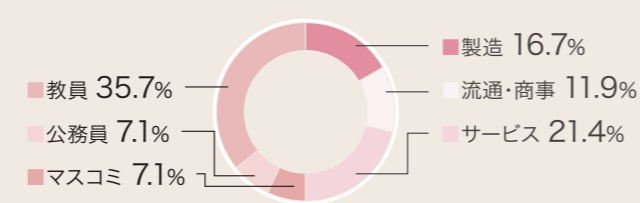
- ・道徳教育論
- ・学校カウンセリング論
- ・子ども・若者と社会病理
- ・国際教育援助論
- ・比較市民教育論
- ・子どもと遊び
- ・いのちの教育
- ・子ども・若者と社会病理
- ・自己論
- ・グローバル教育論
- ・子どもとICT
- ・現代若者論
- ・児童・発達心理学
- ・生涯学習論
- ・学校文化・学校空間論
- など

卒業論文テーマ(過年度例)

- これからの教員に求められる資質・能力
- ICT教育の成果と課題
- 学力格差解消に向けて
- 授業における導入の工夫—認知的葛藤に着目して—
- 日本における子どもの貧困と今後の対策
- 外国人児童教育の現状と展望

主な進路・就職先

※小数点以下第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。



【製】黄桜(株)/タカスタンダード(株)/デンカ(株)/パナソニック ホームズ(株) 【流】ゲンキョー(株)/大学生協同組合グループ(関東甲信越)/ (株)大丸松坂屋百貨店/(株)ファミリーマート 【サ】(株)エヌ・ティ・ティ・ロジスコ/(株)ドコモCS北陸/(株)ビズリーチ 【マ】(株)ADKホールディングス 【公】京都市役所/国家公務員一般職(気象庁)/東京都特別区人事委員会 【教】愛知県教育委員会/茨木市教育委員会/愛媛県教育委員会/大阪府教育委員会/京都市教育委員会/神戸市教育委員会/堺市教育委員会/滋賀県教育委員会/静岡市教育委員会/千葉市教育委員会/富山県教育委員会/豊中市教育委員会/福岡県教育委員会

ゼミ紹介



人間福祉専攻 3回生
河村 太志朗さん

「子どもの権利」の ソーシャルワークの視点からの検討

石田ゼミでは、社会の、特に社会福祉をめぐる事情について批判的思考で捉え、検証することを大切にしています。ゼミ内での議論を通して、福祉的課題は一面的な理解ではなく、多角的視点から立体的にとらえる必要があると痛感しています。私は、農業と福祉の連携について研究しています。正課外の活動では、きぬがさ農園kreisのメンバーとして活動しています。地域の方と農業に取り組む中で、「福祉×農業」についての関心を深めてきました。「農福連携」が目指されるようになった背景について、また、活躍が期待されている障害者をめぐる社会構造の変化に注目し、その課題を明らかにしようと試みています。

虐待やいじめ、貧困など、子どもの育ちをめぐる今日の社会問題は多様な姿をしています。そうした課題の解決に向けた社会福祉のあり方を、文献購読やデータ分析を通して一緒に考えています。「書を持って、街へ出よう」これは、私自身が学生時代中村正先生に教えていただいた言葉です。ゼミでは、社会学やソーシャルワークに関する文献研究を通して理論的枠組を持つことを大切にしつつ、大学外での各自の活動も大切にしています。もう一つの合言葉は、「Catch positive」、大学院の恩師の教えです。困難な状況にある子どもや親の「強み」を見る視点を育て、ゼミの友人関係でもそれを大切にしたいと思っています。



教授
石田 穂奈子

専門性を高める多彩な科目

※★印は専攻コア科目(P03)です。
※下記の科目は抜粋です。

専門導入科目

- ・現代と福祉★
- ・人間発達論
- ・地域福祉論
- ・ソーシャルワークの理論と方法I

専門展開科目

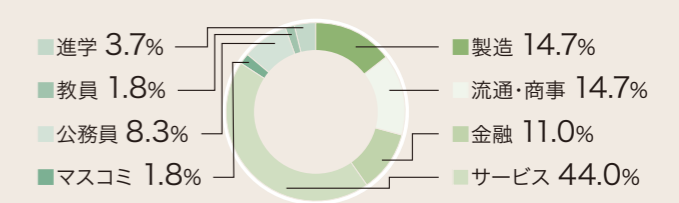
- ・心理学
- ・老人福祉論
- ・障害者福祉論
- ・社会保障論
- ・国際保健医療政策研究
- ・発達障害論
- ・国際福祉社会論
- ・発達保障論
- ・NPO・NGO論
- ・障害者とコミュニケーション
- ・児童福祉論
- ・家族関係論 など

卒業論文テーマ(過年度例)

- 児童館の子どもの居場所作り—子どもの発達支援と職場環境の課題について
- 介護分野におけるICT、ロボットの普及状況と今後の課題—効率化とより良い介護を目指して
- ヤングケアラー支援におけるピア・サポートの活用と展開—当事者が経験を「語る」ことの支援の考察
- 高齢者向けサロン活動の担い手不足に関する福祉専門職の支援—京都府中部農村部の事例を通して—
- 奨学金が生み出す負担を緩和する制度とは—返還に関連する制度を中心に—

主な進路・就職先

※小数点以下第二位で四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。



【製】アイリスオーヤマ(株)/いすゞ自動車(株)/(株)伊藤園/キーコーヒー(株)/(株)東芝/豊田鉄工(株)/(株)長谷工コーポレーション/パナソニック(株)/パナソニック コネクタ(株) 【流】イオンリテール(株)/生活協同組合コープやまぐち/三菱電機住環境システムズ(株) 【金】イオンフィナンシャルサービス(株)/(株)関西みらい銀行/宝ホールディングス(株)/日本生命保険(相)/三井住友海上火災保険(株)/三井住友信託銀行(株)/三井住友トラストクラブ(株) 【サ】EY新日本有限責任監査法人/(株)NTTデータSMS/オムロンソリューションズ(株)/キヤノン電子テクノロジ(株)/京王観光(株)/(株)すかいらーくホールディングス/住友不動産販売(株)/SOMPOケア(株)/(株)日能研/日本アイ・ピー・エムデジタルサービス(株)/日本マクドナルド(株)/パーソルテンプスタッフ(株)/(株)船井総合研究所/(株)ベネッセスタイルケア/三菱総研DCS(株) 【マ】ティップ(株) 【公】岐阜県/京都府/国税専門官/国家公務員一般職(厚生労働省)/滋賀県庁/福井県庁 【教】兵庫県教育委員会

学びの特色

柔軟なカリキュラムやさまざまなプログラムが用意されています。

学びの
特色

1 社会の諸課題に関連する分野を幅広く学ぼう

産業社会学部ならではの特色ある授業や、学生の主体的な学びを支援する制度が幅広く用意されています。

地域連携プロジェクト 社会の現場で学ぶ

「問題の本質的な理解をもって、解決に向けた思考力と実践力を養うこと」「多様な他者とのやりとりの中から自分自身を批判的に検証・理解し、総合的な人間力を養うこと」を目指し、産業社会学部では、地域連携プロジェクトを積極的に展開しています。



活動紹介(過年度開講例)

- 嵐電沿線観光情報サイト(日英2言語)制作プロジェクト ～嵐電沿線～
- 第三の居場所探究—シェルター/カフェ/中・高居場所づくりに着目して～尼崎市・大阪市～
- 子どもが自然環境の中で遊ぶ意義:これからの子育てスタイルを考える～京北～
- 古民家再生活動を通じて里山の暮らしと文化・歴史を学ぶ～京都市内～

ソーシャルデザインプログラム

ソーシャルデザインプログラムは、「社会問題の発見と解決」に関する理論と実践を体系的に学ぶことを目的としています。現代社会における社会問題の特性とその多様な解決方法を多角的に学ぶ「ソーシャルデザイン入門」「ソーシャルデザイン・スタディーズ入門」、社会問題の現実をフィールドワークを通じて学ぶ「ソーシャルデザイン・スタディーズ実践」などの科目が中心となります。このプログラムの修了者は、社会問題を主体的に発見・解決し、新たな地平を切り拓く人材として、社会のさまざまな分野で活躍することが期待されます。

専門特殊講義 プロフェッショナルに学ぶ

産業社会学部では、学外諸機関からゲストを迎えた専門科目を開講しています。社会の第一線で活躍しているプロフェッショナルの講義はとてパワフル。学生たちの好奇心・探求心を刺激します。

開講科目の紹介(過年度開講例)

- 読売マスコミ講座 ～メディアの公共性から21世紀の新聞とテレビの課題を考える～
- 朝日新聞・朝日放送リレー講座 ～メディアの現場から～
- 読売スポーツ社会学講座 ～スポーツ・メタバイトをめぐる政治学とスポーツ報道～

学びの
特色

2 グローバルに学ぼう

産業社会学部には、国際社会と実践的に向き合い、ポータブルに活躍できる人材を育てるための国際プログラムが揃っています。

英語副専攻 英語で研究・発信する

高度な英語運用能力を身につけながら、社会学関連の専門知識を幅広く英語で学び、発信する力を鍛えるプログラムです。また、大学院進学や英語圏への留学を希望する学生のニーズに応え、英語でのライティング、リーディングに重点を置いた授業もおこなっています。

授業はすべて英語でおこなわれ、プログラム修了時にはTOEIC®L&Rテスト600点(TOEFL®ITPテスト500点、TOEFL iBT®テスト61点)以上の力をつけることを目指します。



グローバルスタディプログラム

グローバルスタディプログラムは、国内外で起きている社会諸問題について国際的な視点から学ぶことを目指す学生の皆さんを対象に、産業社会学部が提示する国際教育履修モデルです。このプログラムでは、多文化共生・異文化理解のための知識と実践力を習得する講義科目とフィールドワーク科目、そして、外国語でのコミュニケーション力を涵養する語学科目といった多様な科目を配置しています。また、ゼミナールでの報告や卒業論文において、外国語の文献を用いて研究テーマを深めることができるようになることを目指します。

海外短期研修 海外で実践的に学ぶ

海外の提携大学と学部が協働で海外短期研修プログラムを開発しています。産業社会学部のカリキュラムの中で培った外国語の総合的運用能力を基礎に、海外というフィールドで各分野の専門学修を深めます。

主な実施プログラム

※開講するプログラム・渡航先は年度によって異なります。

- Study Abroad Program (オーストラリア・サザンクイーンズランド大学)
- アメリカ西海岸でレジャー・スポーツビジネスの最前線を学ぶ (アメリカ・カリフォルニア)
- 多文化共生社会(カナダ・トロント)におけるフィールドワークスタディ (カナダ・トロント大学)
- ベトナムの社会と障害者教育・福祉に関するフィールド調査研究 (ベトナム・ハノイ師範大学)
- 台湾の文化と社会 (台湾・東呉大学)



※上記、学部独自の国際プログラム以外に、全学募集の国際プログラム(海外留学プログラム)もあります。

資格取得

産業社会学部ではさまざまな資格課程を設置しています。将来の希望に合わせて、資格取得を目指しましょう。

※なお複数の資格課程・プログラム等を並行して履修することができない場合があります。

取得可能資格・教員免許状一覧

現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校教諭一種(社会・保健体育) ● 高等学校教諭一種(地理歴史・公民・保健体育) ● 特別支援学校教諭一種(知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会調査士(定員あり)
子ども社会専攻	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校教諭一種 ● 社会調査士(定員あり) 	
人間福祉専攻	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉士国家試験受験資格(定員あり) ● 中学校教諭一種(社会・保健体育) ● 高等学校教諭一種(地理歴史・公民・保健体育) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援学校教諭一種(知的障害者、肢体不自由者、病弱者) ● 社会調査士(定員あり)

小学校教員養成課程

子ども社会専攻では、「小学校教員養成課程」を設置しています。小学校教諭一種免許状は専攻の専門科目の中で免許状取得のために必要な科目を受講し、単位を取得することで、教育委員会より授与されます。

この課程では、免許状取得に必要な科目のみならず、産業社会学部の他専攻に開設されている科目などを履修することで、社会諸科学や子どもをめぐる課題等を理論的・実践的に学べ、現代の教員に求められている幅広い知見を獲得することができます。小学校教員免許状取得を目指す皆さんが学修に取り組みやすい環境を整えるとともに、小学校現場を熟知した専門の教員から実践に即した支援を受けることができます。



PSTルーム(PST=Primary School Teacher):小学校教員になるための教材研究・模擬授業準備・採用試験に向けての学修で活用できます。書籍・PC・教員や教材作成のための備品を取り揃えています。

※社会福祉士課程の履修にあたっては定員を定めています。
※資格取得にあたっては実習費用など別途履修費用が必要です。

国家試験合格率 合格に向けて全力でサポートします!

全国平均を大きく上回る合格率

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
本校合格率	53.8%	82.8%	75.0%	70.8%
全国平均	29.3%	29.3%	31.1%	44.2%

社会福祉士課程

社会福祉士とは相談・援助業務に関する国家資格の専門職です。人間福祉専攻の課程で所定の科目を卒業までに全て修得することにより国家試験の受験資格が得られ、卒業年度または卒業後の試験に合格することにより社会福祉士の資格を得ることができます。社会福祉士は、福祉現場は勿論、行政や病院、社会福祉協議会、企業など、さまざまな場所での活躍が求められています。

社会福祉実習指導室



副室長と主事2名が在席。社会福祉士課程に関することを丁寧にサポートします!相談カウンターでは、授業や実習、国家試験に関することなど気軽に相談することができます。

実習報告会の様子



さまざまな現場からゲストをお招きする企画が沢山あります。

社会福祉士課程 修了者の声

社会福祉士課程を取らない大学生活、今後の人生が考えられないくらい、自分の中で大変大きく、大切な時間となりました。社会福祉士課程で学ぶにあたって日頃の授業や実習、講座など、先生方、実習指導室の皆さん、関わってくださる多くの方の支えがあったからこそ、資格取得に向けて頑張ることができました。ありがとうございました。

教員紹介

2023年度 教員・研究テーマ一覧

現代社会専攻	
江口 友朗	タイなど東南アジア諸国の人々での間の金銭的な違い(例えば、貧困や所得格差など)に関する調査と、世界中の人々が物質的に豊かかつ幸せに暮らしていくために必要な持続可能な社会経済システムの検討:各国の制度や政策をてがかりにして
大野 威	日米英を中心とした働き方の変遷の国際比較、女性役員登用の国際比較、育児と仕事の両立
加藤 潤三	社会心理学から地域コミュニティにおける人間の行動と心理の探求(地域環境問題、地方への移住、沖縄に関する研究など)
加藤 雅俊	公共政策が国々によって異なる理由・背景に関して政治的な要因に注目して分析する(とくに、日本とオーストラリアに注目して)、紛争処理と合意形成のあり方を多角的に検討する、政治学という学問が可能になるための条件を検討する
金澤 悠介	大規模アンケート調査で人々の政治についての新たな価値観を探索、大規模アンケート調査で社会的孤立の実態と原因を探索
斎藤 真緒	ヤングケアラー・若者ケアラーおよび男性ケアラーを中心とする家族ケアに関する理論的実証的研究と当事者参画に基づく社会資源の開発、今日の若者の恋愛の動向の把握とデートDV 予防プログラムの開発
嶋山 治男	感情の社会学、サービス産業下でのストレスに関する感情労働論、コミュニケーション能力が求められる社会の心理主義という視点からの分析
櫻井 純理	市町村と企業・NPO等が提供している就業困難者への支援政策、日本とデンマークの比較研究
杉本 通百則	EU・ドイツの環境政策の歴史、リサイクルや循環経済の研究、大量生産・大量消費社会の国際比較
住家 正芳	宗教学、宗教学社会学。宗教や宗教的なもの(聖地、霊的なもの、占いetc.)をめぐるさまざまな思想の研究
孫 片田 晶	在日コリアンの歴史や思い、多文化共生社会、人権主義の問題
武岡 暢	歌舞伎町の都市社会学、商店街、職業のネットワーク:ホストクラス、キャバクラ、性風俗、客引き、スカウト等
竹濱 朝美	再生可能エネルギー電源(風力、太陽光、バイオマスなど)の拡大政策、脱原発のエネルギー政策、再エネ100%を目指す企業、自治体の事例分析、電気自動車EV拡大に関する国際比較
富永 京子	・政治に対して意見が言うことや批判をすることはなぜ日本社会で嫌がられてしまうのか・「旅行」と「暮らし」を社会・政治とつなげて研究する
中井 美樹	生活や仕事での男女間不平等の研究、ジェンダー格差・性別役割分業、等の研究
中西 典子	地域社会と公共性(公共空間)、地域政策(地方分権、地域振興)に関する比較社会研究、京都学研究
永島 昂	日本経済・産業の歴史、モノづくりにおける中小企業の研究
永野 聡	観光と健康を融合したまちづくり、身近なところからの環境対策(SDGs)、アート活動で地域おこし?、震災復興と国際交流の実践、UberやAirbnbが身近な社会を創るには?、高齢者に優しい社会をみながら創るにはどうすれば良いか(海外にもトビ出そう)?
永橋 爲介	参加型まちづくりの実践、ファンティーション・スキル(対話と熟議を円滑に進める技法)の獲得と展開、合意形成の作法と技術
原尻 英樹	グローバル化、世界のコリアン、東シナ海域研究、身体論
樋口 耕一	ネットやマスメディアを飛びかう言葉から「社会の心」を探る研究、テキストマイニングの方法とツールの開発
平井 秀幸	刑務所のフィールドワーク、薬物依存症とその支援、セルフヘルプ・グループと当事者活動、社会批判と社会調査
三笠 利幸	マックス・ヴェーバーの思想、近現代の沖縄をめぐる思想

柳原 恵	ジェンダー研究。女性史。インタビューとミニコミ(自主制作雑誌)から見る女性運動
山口 歩	再生可能エネルギーの拡充政策 系統拡充の考察 電力自由化時代の系統接続ルール 電力消費生活のデザイン 公共空間の拡充 音響デバイスの発展過程
吉田 誠	戦後日本の企業と労働組合の歴史
リム ポン	歴史都市・京都における都市政策課題の探求

メディア社会専攻	
飯田 豊	メディア論、メディア技術史、文化社会学。とくにテレビ、ビデオ、万博などに関する研究
瓜生 吉則	マンガの読者論・メディア論、メディア文化としての競馬の歴史社会学、戦後日本社会におけるテレビの文化研究
川口 晋一	メディアの発達と観覧スポーツ文化の変容:米国レクリエーションの歴史と政治
坂田 謙司	社会における音と声の存在を、理論とラジオ番組制作を通じてもう一度考える。特に、ジェンダーや災害、AIなどの日常生活との関わりについて、歴史を遡って考察する
住田 翔子	戦後日本の廃墟イメージの研究、アートと都市空間・都市イメージ、視覚文化論、感性文化論
高橋 顕也	コミュニケーション・メディア、メディア文化、ソーシャル・メディア、社会学論
筒井 淳也	社会的ネットワーク(家族・友人関係)、仕事と家庭の両立、国による生活や価値観の違い
長澤 克重	情報化・サービス化経済の統計的研究
浪田 陽子	メディア・リテラシー(メディアの特性を理解し、読み解き、発信する力)の獲得と学校におけるその教育実践、日本と北米の映画・テレビ番組・広告に描かれるジェンダーやエスニシティの比較分析、カナダのメディア研究
根津 朝彦	戦後日本のジャーナリズムの歴史、新聞記者・報道・ニュース研究、テレビのドキュメンタリーが迫る社会問題
日高 勝之	①「物語(narrative)」としてのメディア・映画研究 ②記憶、ノスタルジアのメディア・映画研究 ③コロナ禍・東日本大震災などの大災害・カタストロフィ後のメディア・映画研究
福岡 良明	①戦争観の変容とその社会背景に関する戦後メディア史 ②教養文化と格差・労働をめぐる歴史社会学
藤嶋 陽子	日本のファッション産業の歴史、ファッションメディア、SNSやECサイト(商品を売ることができるウェブサイト)の登場が消費に与えた影響、ファッションとテクノロジー
増田 幸子	映像メディアにヒーロー・ヒロイン・マイノリティはどうか描かれているか、日本のテレビドラマ研究
柳澤 伸司	新聞活用教育(NIE:Newspaper in Education)、メディア・リテラシー、ジャーナリズムとメディアの諸問題

スポーツ社会専攻	
市井 吉興	新しいスポーツ=ニュースポーツを創ってみよう! そして、スポーツの魅力を探求してみよう!!でも、「新しいスポーツ」ってなんだ??
漆原 良	スポーツのパフォーマンスを含む人の運動・行動能力の潜在的可能性を引き出す方法を学際的視点から考える
岡田 桂	スポーツとジェンダー(性役割)をめぐる歴史と現状、スポーツとセクシュアリティ(LGBTQ+)の関係性、文化としてのスポーツが社会で果たす役割

金山 千広	①障害者スポーツの普及・振興に関する研究 ②学校体育・生涯スポーツにおける「場」のインクルージョン ③対象者の状況に応じて、スポーツを工夫・展開するためのマネジメント(アダプテッドスポーツのマネジメント)
金子 史弥	①スポーツ社会学、スポーツ政策論 ②戦後のイギリスにおけるスポーツ政策(スポーツとナショナリズム/社会的包摂)に関する研究 ③オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツイベントに関する社会学的研究(特にその<レガシー>(遺産)に関する研究)
権 学俊	近現代日本の天皇制(皇室)とスポーツの歴史 スポーツとナショナリズムに関する研究 スポーツと人種差別、排外主義に関する研究
中西 純司	①価値共創とスポーツサービソロジー(スポーツサービス学) ②地域スポーツと市民(志民)社会の形成 ③スポーツという「不利益」文化論の研究 ④スポーツ経営学の理論開発
松島 剛史	①スポーツがなぜ世界に広まったのかを探索 ②ラグビーの魅力や発展がいかに社会(政治、経済、科学技術など)に支えられているかを探索する ③レジャー・スポーツを使って理想的なコミュニティや社会をデザインする

子ども社会専攻	
石田 智巳	体育と認識、ナラティブ・アプローチ、体育実践記録論
大谷 いづみ	「いのち/生・老・病・死」の語り方・語られ方の分析と再考
大谷 哲弘	高校生の学校生活への適応やキャリア発達、児童生徒の大規模自然災害後のトラウマ反応
岡本 尚子	算数科の子どものつまずき、脈拍や視線などをを用いた思考の分析
御旅屋 達	ひきこもり経験を有するなど、生活や就労において難しさを抱えた若者を支える仕組みについての研究 現代社会における「居場所」についての研究
角田 将士	社会科(地理歴史科・公民科)カリキュラム編成論、社会科(地理歴史科・公民科)授業構成論
景井 充	①フランス社会学を誕生させた問題意識と理論構成の解明 ②日本の近代社会の特徴を炭鉱の歴史に探る研究 ③条件不利地域の社会経済的サステナビリティを実現するソーシャルデザインの探求
柏木 智子	子どもの貧困、外国ルーツの子ども、子ども食堂、学習支援活動、探究学習、ケアする学校・授業づくり、学校とICT活用、学校との連携によるコミュニティづくり
中西 仁	①小・中学校における社会科授業の教材、方法の研究 ②京都の祭礼、年中行事、地域の歴史研究
野原 博人	理科教授・学習論、理科評価論、学習環境のデザイン
春木 憂	国語科授業づくり、カリキュラム開発

人間福祉専攻	
秋葉 武	NPO・NGOの経営学(NPOがより社会的成果を挙げるためのガバナンス・クラウドファンディング・広報・人材開発・コンサルティングなど)
石田 賀奈子	児童福祉・特に虐待を受けた子どもの回復に向けた支援に関する研究、児童養護施設や里親による子どもの養育、子どもの権利擁護(アドボカシー)
呉 世雄	高齢者の地域生活を支える仕組みと実践、社会福祉施設の運営管理、ビジネス手法を用いた社会問題の解決、新たな福祉サービスの開発



詳しくはこちら

岡田 まり	病気・障害・介護・貧困・差別などに直面している人の生活支援や環境改善、福祉専門職の養成や研修
川崎 聡大	発達障害や知的障害・言語障害の背景や支援法を心理学・脳科学の観点から検証するディスレクシア(発達性読み書き障害)の支援法やインクルーシブ教育実践を可能とする評価法の研究
黒田 学	障害のある子どもと家族の地域生活支援、特別ニーズ教育および障害児福祉に関する国際比較研究(ベトナムなどの東南アジア、ポーランドなどのEU諸国)
桜井 啓太	現代日本の貧困問題。社会福祉、特に生活保護制度に関する研究
鎮目 真人	社会保障、労働、家族などに関する社会問題と日本の福祉国家に関する研究、高齢期の貧困問題と年金制度の研究
田尾 直樹	社会的孤立に関する地域福祉の役割、社会福祉施設の建設をめぐる地域住民との紛争事態に関する地域福祉の課題
竹内 謙彰	発達心理学(発達障害児・者の特性理解と支援、発達のアセスメント、認知の発達と個人差)
田村 和宏	障害のある子ども・人たちの発達と生活・教育・労働の支援について、障害のある人の権利の侵害と保障について、家族やきょうだい支援について
丹波 史紀	貧困や災害などのリスクにさらされた個人や家族が、尊敬を保ち地域での暮らしを実現する社会政策の研究
中村 正	DV、虐待、いじめ、ハラスメント、性加害、ストーキング行為等の対人暴力をなくすための臨床社会学・社会病理学の研究、ジェンダーと男性性の研究等
長谷川 千春	日本やアメリカを中心とした、医療保険や医療サービスの提供に関する医療保障システムについての研究、また医療保障システムが抱える問題についての研究
前田 信彦	教育と職業キャリアに関する社会学的研究、学校から職業への移行とキャリア教育(大学生の就職活動など)、ワークライフ・バランス研究
松田 亮三	医療と福祉の仕組みと政府の役割、いろいろな国の福祉の仕組みの比較、誰もがが必要な医療・福祉を利用できるようにするために何をすればよいか
三木 裕和	障害児教育における教育目標・教育評価論
村田 観弥	インクルーシブな社会に向けた教育のあり方についての研究

言語・国際教育	
Ian Hosack	日本の中等教育におけるシティズンシップ教育(市民教育)と英語教育との関連性とその取り組み。現代社会に市民として参加するため必要な意識、スキル、価値観など、英語教育を通してどのように育成されるかについての研究
伊東 寿泰	言語学(語用論)を用いた英語教育研究、ヨハネ福音書を中心とした新約聖書の文学的・言語学的研究
上原 徳子	中国古典小説とそのパロディ・スピノフ・映像化作品と読者や観客の受けとめ方についての研究
下條 正純	日本語における表現とその効果、物語(少女小説やライトノベル)に見られる発話表現と人物描写の関わりなど
武田 淳	留学や就職などで国境をこえて移動する人々についての研究
仲井 邦佳	スペイン語文法構造の研究、ロマンス語(イタリア語、フランス語、等)との比較研究、スペイン語と日本語の対照研究
盧 載玉	韓国・朝鮮語教育(言語の機能「読む」「書く」「話す」「聞く」)を楽しむ学べる教材開発、文化的背景に基づいて機能する言語力を身につけるための教材開発
松島 綾	ポピュラー・カルチャー研究、視覚文化と認識、主体の関係性、視覚的コミュニケーションの研究
宮尾 万理	第二言語学習者による文の理解と産出、思考力の育成

GRADUATES' MESSAGE 卒業生メッセージ



ジャパネットHD
リージョナルクリエイション長崎
スタジアム・アリーナ・ホテル事業企画部

スポーツ社会専攻 2021年卒業
中尾 彰秀さん

スポーツ社会学の視点から、地域の活性化を目指す

大学在学中は体育会サッカー部女子で学生コーチ・などでリーグTOPチームコーチを務め、課外活動に励む毎日でした。スポーツへの関心が高く、所属したゼミではスタジアム・アリーナのスポーツ施設が持つ魅力、『スマート・ベニュー(持続可能な複合型交流施設)』について研究しました。

学生時代からJリーグクラブで働きたいと考えていたこともあり、Jリーグ・Bリーグのクラブを所有しているジャパネットグループに就職しました。現在はスタジアム・アリーナ・ホテル・商業・オフィスからなる複合施設開発プロジェクト『長崎スタジアムシティプロジェクト』のホテル棟を担当しています。

スポーツ社会専攻の最大の強みは、スポーツを社会学的観点から学ぶことができること。スポーツの歴史や文化、現在のスポーツマネジメントや地域スポーツなど、社会学的観点からスポーツを学ぶことは、スポーツの課題を解決していくことにつながります。

日本のスポーツ施設の多くは行政主導で、コスト負担になっている現状があります。民間主導でスポーツ施設を作るというこのプロジェクトの成功が地域を元気にし、他の地域にも展開することで、スポーツで日本全体を変えていくことができる。そう信じて常にチャレンジし、私個人としても成長できるように努力していきます。



広島市役所
こども未来局児童相談所

人間福祉専攻 2022年卒業
北森 真琴さん

多角的な視点で立ち向かう、正解のない問い

大学では社会福祉士課程を履修し、社会的養護を必要とするこどもたちとその家族への支援について考えるゼミに所属。誰もが利用できる公的な福祉サービスの重要性を強く感じました。様々な権限を有している公的機関だからこそできる支援に携わりたいと思い、現在は広島市役所の福祉職として児童相談所で働いています。

大学で特に力を入れたことは、社会福祉士課程での学習です。福祉といっても、児童、高齢、障害、医療など領域は多岐に渡ります。他の履修生とのディスカッションを通して考えを深める中で、多角的な視点や自分の意見を述べる力が身に付きました。また、産業界

会学部では自専攻だけでなく、他専攻の専門科目も学ぶことができます。私は福祉を学ぶために入学しましたが、教育やスポーツ、メディアについても勉強する中で、福祉は独立して存在しているのではなく、生活の1つの側面であり、他の分野とのバランスも大事なのだと学びました。

現在は児童虐待の対応をしていますが、この仕事は明確な正解がなく、成果が数字として現れるものでもありません。各家庭にとっての最善を考えていくことが重要です。これからもこどもと保護者に大きな影響を与える仕事をしているという意識を持ち、こどもを主体とした視点を忘れずに業務に励んでいきたいです。